



▲虫追い祭りフォトコンテストの作品などが展示され、来場者の目を楽しませていました

空き店舗を利用し、地域の活性化図る 11/8
河浦

～「町なか交流館（仮称）」がオープン～
11月8日、「町なか交流館（仮称）」が一町田地区にオープンしました。これは、一町田地域町なか交流事業実行委員会が空き店舗を利用し、住民同士の交流や暮らしに役立つ情報を提供するスペースに改装したものです。オープン初日は、健康に関する講演が行われたほか、虫追い祭りフォトコンテストの作品などが展示され、多くの人々が訪れていました。なお現在、同交流館の名称を募集中です（12月10日※まで）。詳細は同実行委員会（河浦町商工会内）☎0132へ。



▲心肺蘇生法を学ぶ地元住民

より多くの人に救命・消火訓練を 11/9
五和

～城河原地区自主防災会打越支部・防災訓練～
五和町城河原・打越地区の「防災訓練」が11月9日、打越公民館で行われました。これは、城河原全体での訓練を受け、「もっと小規模な地域での訓練が必要」と実施されたものです。当日は、同地区住民約40人が参加。消防車や救急車が到着するまでの初期的処置の重要性から、同地区在住の消防職員の指導で、AED（自動体外式除細動器）の使用法や心肺蘇生法を学んだほか、水消火器による消火訓練を実施。最後に、消防団員が放水訓練を行いました。



▲78隻の漁船が、勇壮な船団パレードを披露！

海を生かした地域づくりを目ざして 11/9
新和

～大多尾「えびす市」～
11月9日、第3回大多尾「えびす市」が大多尾漁港などで開催されました。これは、大多尾地区振興会が海を生かした地域づくりを目ざして、毎年実施しているものです。当日は神事が行われた後、78隻の漁船による勇壮な船団パレードや鯛釣り大会、魚のつかみ取り、大漁と航海安全を祈願するもち投げなどが実施されたほか、ステージでは地元の保育園児や小学生、舞踊会会員による踊りや合唱などが披露され、観客から大きな声援が送られていました。



▲福連木の子守唄を披露する福連木小学校の皆さん

子守唄の温もり感じる 11/9
天草

～福連木子守唄&童謡まつり～
福連木子守唄公園で11月9日、「福連木子守唄&童謡まつり'08 in天草」が開催されました。これは、子守唄の保存・継承に取り組む同まつり実行委員会の主催で、今年で14回目。当日は一時、小雨が降るあいにくの天候となりましたが、会場には家族連れなど約2,500人が訪れ、福連木子守唄保存会などによる「福連木の子守唄」や、子どもたちの童謡に耳を傾けていました。また、特産品販売やバザーも行われ、ふるさとの味を買い求める人たちににぎわいました。



▲力強く、美しいステージドリルを披露する熊本工業高校吹奏楽部

迫力ある演奏・隊形の美に感動！ 10/25
牛深

～潮風コンサートin牛深～
「潮風コンサートin牛深」が10月25日、牛深総合体育館で開催されました。同コンサートには、九州マーチングコンテストで金賞を取るなど県内外で活躍中の熊本工業高校吹奏楽部が出演。大河ドラマのテーマ曲などの演奏や、舞台上で音楽を奏でながら次々と隊形を変えていく、約100人によるステージドリルなどを披露し、会場に訪れた約700人の観客を魅了しました。また、牛深高校と牛深・牛深東中学校の吹奏楽部も出演し、コンサートを盛り上げました。



▲31チームが秋のビーチで熱戦を繰り広げました

県外からも初参戦！秋のビーチで熱戦展開 10/26
有明

～ビーチドッジボール世界大会in天草～
10月26日、「第3回ビーチドッジボール世界大会in天草」が四郎ヶ浜ビーチで開催されました。この大会は、有明町商工会がシーズンオフのビーチに海外からも人を呼び込もうと「世界大会」と銘打って実施。当日は、日本人のみの参加となりましたが、今回初めて福岡や長崎など県外からも参戦。小学校低学年・同高学年・一般の3部門に31チーム約350人が参加し、小雨交じりの肌寒い中、慣れない砂浜に足をとられながらも熱戦を繰り広げていました。



▲応援合戦で盛り上がる参加者の皆さん

終始、笑い声に包まれた運動会 11/1
倉岳

～仮装運動会～
「第14回仮装運動会」が11月1日、倉岳体育館で開催されました。これは、高齢者と子どもが仮装して交流を深めてもらおうと、市社会福祉協議会倉岳支所が毎年実施しているもの。当日は、市内の福祉施設や倉岳小学校など11団体から合計約130人が参加。手作りのお面や衣装を身につけ、玉入れ競技や花笠音頭などを披露したほか、応援合戦では栖本の河童軍団や、崖の上のポニョならぬ崖っぴちの人面魚が登場し、会場は笑い声に包まれていました。



▲各地区ごとに趣向を凝らしたバザーを出店

約8,000人が訪れ大盛況！ 11/2
栖本

～栖本かっぱ祭り～
11月2日、「栖本かっぱ祭り」が栖本温泉センター前ふれあい広場で開かれました。これは、栖本まちづくり協議会が実施しているもので、今年で10回目。当日は、栖本河童軍団の「ひょっこり踊り」や地元の保育園児による「へのかっぱ音頭」などが披露されたほか、かっぱウォークラリーや木工体験、シーカヤック体験教室などを実施。また、町内12地区が食品バザーを、各種団体が特産物販売を行い、家族連れなど約8,000人の来場者でにぎわいました。